

ツリフネソウ

(ツリフネソウ科ツリフネソウ属)

朝鮮、中国、ロシア、日本（北海道、本州、四国、九州）に分布しています。山野の湿地に生育しており、高さ 40～80cm になる 1 年草です。近縁種には花が黄色いキツリフネがあります。



ハチに花粉を運ばせる！？

ツリフネソウの距の内部には蜜がたまっています。その蜜を求めて、ハナバチの仲間などが入り口から距の中へもぐりこみます。この時、距の入り口にある雄しべから花粉がハチの背中にくっつき、他のツリフネソウにもぐりこんだ時に雌しべに花粉がくっついて受粉する仕組みになっているのです。



横から見た花



正面から見た花



花の中からハチが出ていく様子

花が終わると・・・

花が終わると果実ができます。この果実が熟すと、少しの刺激で果皮が 5 片にはじけてクルクルと巻き、種子をはじきとばします。



熟した果実

少しの刺激で・・・



弾けた果実



弾けた果実と種子